

平成21年度事業計画

1. 美術館事業

(1) 常設展事業

安宅コレクション、李秉昌コレクション、日本陶磁などの館蔵品のうち、主要な作品を陶磁史の流れに沿って展示する平常展と特定のテーマやジャンルごとに企画構成するテーマ展や特集展を実施する。

ア 平常展 平成21年4月4日(土)～平成22年3月28日(日)(開催日数282日)

(ア) 安宅コレクション

韓国陶磁 約80点、中国陶磁 約45点

(イ) 李秉昌コレクション

韓国陶磁 約60点

(ウ) 日本陶磁 約30点

(エ) 沖正一郎コレクション

鼻煙壺^{びえんこ} 約140点

※平常展の展示作品は時期により一部展示替えを行う。

イ テーマ展

テーマ展「鈴木正男氏寄贈—^{あさかわのりたか}浅川伯教が愛した韓国のやきもの」

4月4日(土)～7月20日(月・祝)(開催日数93日)

浅川伯教(1884～1964)は、弟の巧とともに、日本における韓国陶磁研究の先駆者のひとりである。徹底した資料収集に基づく研究業績は、韓国陶磁史研究における貴重な資料として今も評価されるものである。本展では、伯教の女婿、鈴木正男氏からの寄贈品を中心に伯教遺愛の陶磁器や自筆の絵画など約40点を展示し、彼が愛した韓国のやきものへの深い思いをたどる。 展示点数 約40点

ウ 特集展

(ア)「文人コレクターの眼差し—^{はくとうろ}白禱廬コレクション中国陶磁」

4月4日(土)～7月20日(月・祝)(開催日数93日)

白禱廬コレクションとは、奈良県在住の収集家よりすでに寄贈を受けた陶磁器104点、中国工芸3点からなるコレクションである。このたび、あらたに中国陶磁32点、中国工芸1点が加わった。本展では、新寄贈の作品を中心に時代別、技法別に約30点を展示する。

(イ)「初代宇野宗甕^{うのそうよう}の陶芸」

12月5日(土)～平成22年3月28日(日) (開催日数91日)

初代宇野宗甕(1888～1973)は初代仁松の長男として京都に生まれ、国が撰定した無形文化財、辰砂・青磁技術の「関係技芸者」に選ばれた陶芸家である。本展では宇野眞理栄氏からの寄贈品をもとに、中国古陶磁研究に生涯をささげた初代宗甕の艶やかな陶芸の世界を紹介する。 展示点数 約30点

(2)特別展示・企画展示事業

ア 国際交流・特別展「北宋汝窯青磁—考古発掘成果展」

12月5日(土)～平成22年3月28日(日) (開催日数91日)

宮廷用としてつくられた北宋汝窯青磁は、世界でも伝世品は極めて少数で、日本では当館所蔵の水仙盆がよく知られている。「天青色」とも呼ばれる独特の釉色と精緻なつくりは、中国の青磁を代表するものの一つである。本展は、河南省文物考古研究所の特別協力により実現するもので、河南省宝豊県清凉寺の北宋汝窯窯址の出土資料約80点により、北宋汝窯青磁の謎と魅力に迫る。

なお、本展は読売新聞大阪本社との共催の予定である。

イ 企画展「中国陶磁に遊ぶ—入江正信コレクション」

8月1日(土)～11月23日(月・祝) (開催日数98日)

京都市在住の入江正信氏からはこれまで数度にわたり中国陶磁コレクション(242件262点)を東洋陶磁美術館にご寄贈いただいた。長年にわたって収集されたこのコレクションは主に酒器として用いるために収集されたもので、新石器時代の^{だいまんこう}大汶口文化の黒陶から明・清時代の青花磁器にいたるまで時代別、種類別、窯別に多岐にわたる点に大きな特色がある。本展ではその中から代表的な作品約80点を選び、その魅力を紹介する。

ウ 水都大阪2009開催記念事業・企画展「水都大阪再発見」

8月1日(土)～11月23日(月・祝) (開催日数98日)

「水都大阪2009」の開催を記念し、水都大阪の中心・中之島や大川沿いの近世から近代にかけての景観や賑わいぶりを、大阪歴史博物館の所蔵品を中心とした絵画、工芸、写真資料など約30点により紹介する。

なお、本展は大阪歴史博物館、読売新聞大阪本社との共催の予定である。

(3) 調査研究事業

ア 資料の収集整理

東洋陶磁その他美術に関する研究資料、文献、写真等を収集整理し、東洋陶磁の研究拠点として充実を図る。

イ 調査研究

東洋陶磁その他美術に関する調査研究事業として、中国陶磁、韓国陶磁、日本陶磁に関する研究・窯址調査等を行い、その成果を展示・講演活動等により市民へ還元するとともに、学会での研究発表などにより学術の発展に寄与する。

(4) 普及事業

ア 講演会の実施

① 特別展、企画展の開催時期にあわせ、展示内容についての理解を深め、鑑賞の手引きとなるように、講演会を開催する。

・演題「水都大阪について(仮題)」 9月頃

・演題「汝窯について(仮題)」 12月頃

② 当協会学芸員によるアフタヌーン・レクチャーを年6回程度開催する(土曜日・日曜日もしくはは祝日)。

イ 広報活動

(ア) ホームページによる広報

日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語の4か国語での館の利用案内、主要な館蔵品、展覧会などの最新情報を紹介する。

(イ) 集客施設等へのポスター・パンフレット等による広報

展覧会のポスター・チラシ、館案内パンフレット、年間展示予定を美術館・博物館、学校・教育関連施設、駅、観光施設、各種案内所、市施設等集客施設などに配布し、普及・広報に努める。

(ウ) メディア等の活用

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、大阪市広報誌等へ情報提供し、広報に努める。

ウ アンケートの実施

入館者に対するアンケート調査を随時実施し、入館者の要望等を事業に反映するとともに、効果的な情報提供、広報活動等に活かす。

エ 各種団体との連携

各種団体、学校、地域活性化計画、周辺各施設との連携により、効果的な広報活動と入館者へのサービスの充実を図る。

オ 学校向けのポータルサイト

文化庁芸術拠点形成事業として大阪市立の博物館群が構築した教員及び児童・生徒・学生、外国人向けなどのポータルサイトへの参加を通して学校との連携を図る。

カ 他の美術館、学会等との連携

(ア) 館蔵品の長期貸出

① ドイツ・ベルリン国立東アジア美術館への館蔵品の貸出

ドイツ・ベルリン国立東アジア美術館へ、同館の韓国陶磁室の常設展示用として平成16年10月から平成21年10月まで韓国陶磁21点を貸出中である。

② 九州国立博物館への館蔵品の貸出

九州国立博物館へ、同館文化交流展示室「韓国陶磁の色とかたち」において、「天にささげる器—朝鮮時代の祭器」をテーマに平成20年9月14日から平成22年3月14日まで韓国陶磁35点を貸出中である。

(イ) 展覧会における他館等との提携

水都大阪2009開催記念事業・企画展「水都大阪再発見」

大阪歴史博物館との共催

(ウ) 各学会の研究会などの開催

東洋陶磁学会、民族芸術学会などとの提携による研究会などを開催する。

(エ) 大阪市立の美術館、博物館、動物園(8施設)、大阪市ゆとりとみどり振興局との連携

① ミュージアムウィークス

平成21年9月19日(土)～10月8日(木)[20日間](予定)

・「水都大阪2009」にちなみ、「水」をテーマとした「お宝の一品」(重要文化財 青花蓮池魚藻文壺)を公開

・オープニングイベント、学芸員によるミュージアムトーク、スタンプラリー等、関連イベントの実施

② 大阪市ゆとりとみどり振興局との共催により、東洋陶磁美術館において講演会や音楽会などの各種催しを随時開催する。

③ 「OSAKA光のルネサンス」期間中の夜間開館

(5) ボランティアによるガイド事業

常設展・企画展の展示期間中、土・日・祝日の午前と午後にボランティアによるギャラリーガイド(展示室における作品についての解説)を行う。なお、団体については、平日も予約によりギャラリーガイドを行なう。また、ボランティアガイド事業の充実を図るため、学芸員が随時研修を行う。

(6) 韓国陶磁研究事業

本事業は世界的水準の韓国陶磁を中心としたコレクション351件(363点)の寄付者である在日韓国人篤志家・李秉昌氏の寄付趣旨である韓国陶磁研究の促進とその成果の展示活動等への反映を目的として行われるものである。

主な内容は、

- ① 作品調査・窯跡調査を中心とした研究
- ② シンポジウム等の開催
- ③ 研究用作品資料及び研究用図書資料を中心とする関連資料収集

の3つを基本とし、長期基本計画に沿いながら継続的に行っていくものである。これにより、東洋陶磁美術館は名実ともに韓国陶磁研究の世界的な一大研究センターとしての役割を果たし、その展示活動や講演会、シンポジウム等を通して市民をはじめ国内外に発信しながら、日韓文化交流・日韓友好親善に寄与することを目指す。

2. 主催事業

(1) 友の会事業

友の会事業は、大阪市立東洋陶磁美術館の存立意義を評価し、収集、調査、研究、学術交流等の活動を側面的に支援して、同館の一層の発展と充実を図ることに賛同する会員(個人・法人・団体)を募り、次の事業を実施する。

ア 友の会会報の発行(年4回)

イ 講演会等の開催

(ア) 講演会(展覧会の内容理解の促進)

- ① 演題「水都大阪について(仮題)」 9月頃
- ② 演題「汝窯について(仮題)」 12月頃

(イ) シリーズ講座「東洋のやきもの(仮題)」(講師 当協会学芸員) 8月頃

(ウ) 研究会、ゼミナールなどの実施(賛助会員対象)

(2) 出版等事業

ア 展覧会図録の制作・販売

- (ア)テーマ展「鈴木正男氏寄贈—浅川伯教が愛した韓国のやきもの」
- (イ)企画展「中国陶磁に遊ぶ—入江正信コレクション」
- (ウ)国際交流・特別展「北宋汝窯青磁—考古発掘成果展」
- (エ)特集展「初代宇野宗甕の陶芸」(館蔵品図録)
- (オ)常設展「東洋陶磁の展開」、李秉昌コレクション、その他図録

イ ミュージアムグッズの販売

- (ア)オリジナルグッズの製作・販売(絵葉書、レターセットなど)
- (イ)グッズの委託販売(陶磁器参考書籍、ハンカチ、スカーフ、雨傘など)
- (ウ)特別展・企画展など期間限定の展覧会関連グッズの製作・販売